



夢風

YUMEKAZE

第110号(平成30年度 No.8)



みなさん、夢風ようこそ。

12月8日(土)に、普通科時代の卒業生や職員をお招きして、豊田東高校の旧校舍見学と、「思い出を語る会」が開催されました。同級生や恩師などに会って、思い出話に花が咲いていました。詳細は次号でお伝えします。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース
News



● 障がい者スポーツを知ろう！パラリンピック教育

現在、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、スポーツの価値や効果の再認識を通じ国際的な視野をもって社会に貢献できる人材を育成することを目的とした全国展開事業が実施されています。愛知県は今年度から取組が始まり、本校も推進校の1つに選出されました。その一環として、11月8日(木)1・2限に愛知医療学院短期大学から講師をお招きし、3年保育・福祉・看護プランの生徒を対象に出前講座を実施しました。



当日は、写真や映像を見ながら障がい者スポーツについて説明を受けました。講話の中で紹介された「失ったものを数えるな！残っているものを最大限に活かせ」という言葉は、生徒の心に、とても響いたようです。また、アイマスクを着用した歩行や競技用車いすの自操体験も行いました。出前講座を受講した生徒たちは、将来人と関わる仕事に就くことを目標としています。2時間の講座を通して、「社会には様々な人がいること」、「一人ひとりがその人らしく生活していくために自分たちにできること、考えるべきことは何か」など、多くの気づきがあったようです。

● 平成30年度西三北地域協働生徒指導推進研究大会

「いじめ防止～自他の命を大切に、互いの存在を尊重しよう～」をテーマにした意見発表作文で、1年生風紀委員生徒の作文が高等学校・特別支援学校の部最優秀賞を受賞しました。

11月14日(水)、豊田市民文化会館で表彰式が行われました。そして、生徒代表として作文を朗読しました。

「価値観」というタイトルで、中学の部活動で感じたことをもとに、他人の気持ちを考えて発言することや、受け手としては価値観の違いだと割り切ることなど、少しの気遣いで人と人の関係は気持ちがいいものになると訴えていました。



● 第56回豊田市民美術展

第56回豊田市民美術展において、写真・科学部1年生の『雲へ大ジャンプ』が、豊田市議会議長賞を受賞し、11月25日（日）に豊田市民文化会館で表彰式が行われました。高校生に限らず、豊田市に在住・在勤・在学する人に応募資格がある美術展で、今回受賞したのは、豊田市長賞、豊田市教育委員会賞に次ぐ賞です。その他に美術部門で9名、写真部門で6名が入選しました。



● 第2回NFCC高校生フォトコンテスト

11月4日（日）、名古屋文化短期大学において第2回NFCC高校生フォトコンテストの表彰式が開催されました。今年のテーマは「美味しい顔」で、写真・科学部2年生の作品『見せて見せて!』が最優秀賞に輝きました。また、1年生の部員も3名が入賞を果たしました。



持続可能な開発のための教育

ESD; Education for Sustainable Development

● セセラギプロジェクト（1年生）

豊田東高校では、豊田についての地域環境研究「セセラギプロジェクト」を、1年生の「産業社会と人間」の授業で行っています。7年目となる今年は、NPO法人矢作川森林塾の^{はざま}裕伸氏らをお招きして、御立公園の「子どもと川の出会いの場（矢作川九澄橋下流左岸）」整備事業について事前ガイダンスをしていただきました。そして、10月22日（月）6・7限には、実際に「子どもと川の出会いの場」でフィールドワークを実施しました。



矢作川森林塾や矢作川研究所、国土交通省、愛知学泉大学、大同大学からお招きした講師の皆さんに指導をしていただきながら、9班に分かれて樹木の間伐やベンチ製作（右上写真）、水生生物やカメの調査（左下写真）などを行いました。ミシシippアカミミガメなどの外来種も多く見つかかり、生態系に影響を与えていることを実感しました。

フィールドワーク終了後は、矢作川の運用について各班でディスカッションと報告書作成を行い、クラス内報告会では学んだことを共有しました。東高校は、今後も御立公園の整備に積極的に関わっていきます。